



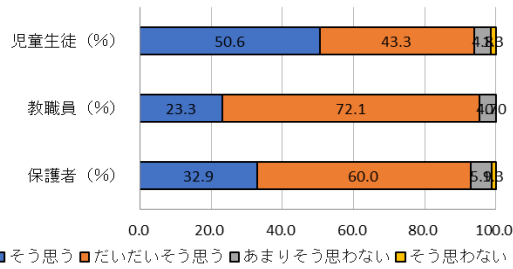
## 学校評価についての報告

保護者の皆様には、令和5年度の教育活動に御支援・御協力いただきまして、ありがとうございます。さて、12月に実施した学校アンケート等を基に学校は自己評価(結果分析、改善方策)を行い、2月の学校運営協議会で学校関係者評価を実施しました。学校関係者評価では、自己評価について学校運営協議会委員の皆様にご説明し、御意見をいただきました。来年度も、施設一体型小中一貫校の良さを生かした教育活動を展開していきます。

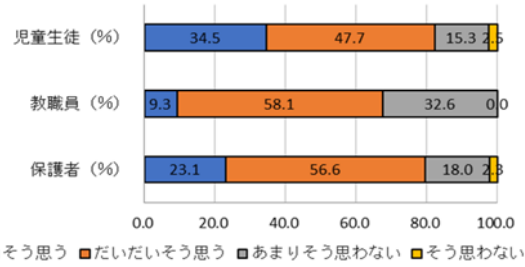
### 学校アンケート結果

※「2 困難に打ち克ち、たくましく生き抜く子供」は「学校いじめ防止基本方針」に基づく項目

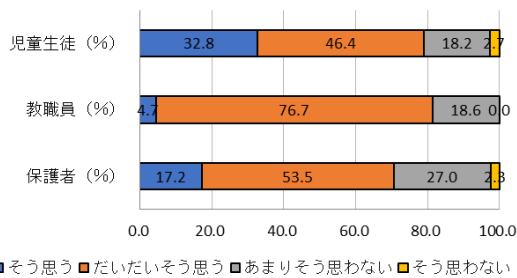
#### 1 自分らしさと人との関わりを大切にしている。



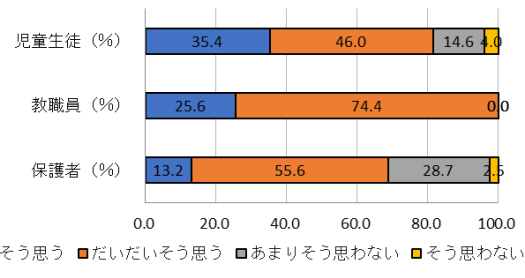
#### 2 困難に打ち克ち、たくましく生き抜いている。



#### 3 主体的に学び自分の考えを表現している。



#### 4 地域について学び、学んだことを社会や地域に生かそうとしている。



- 「自分らしさと人との関わりを大切にしている子供」については、児童生徒、教職員、保護者とも肯定的な回答した割合が9割を超えた。
- 「学んだことを社会・地域に生かせる子供の育成」については、今年度から、高等部の総合的な学習の時間を「庄内未来研究所」と名付け、地域貢献をキーワードに探究活動を行ったため、教師の意識は高く、全教職員が肯定的な回答をした。
- ・「困難に打ち克ち、たくましく生き抜く子供」「主体的に学び自分の考えをもって表現できる子供」については、他の項目より、肯定的な回答の割合が低い。

学校アンケートを基に以下の「アクションプラン」を立て、学校運営協議会で地域の方々とも協議しました。

### 定期的な「人間関係プログラム」の実施

- ・人間関係エクササイズを実施します。
  - ・「ハートカード」を積極的に活用して、周りの人の良い行動に気づき、言葉にして伝えます。
- このような活動を通していじめの未然防止に努めます。

### 「アクティブマンデー」の設定

月曜日の昼休みは、児童生徒が主体となって行事等を企画・運営して異学年で交流することで、主体性を伸ばします。また運営する中で、困難に打ち克つ力を身に付けます。

### 「つながりプラン」の実施

1年生から9年生の「縦割りグループ」を作って助け合います。小中合同運動会でも、縦割りグループで一致団結します。

### 教師の「ICT活用指導力」向上プロジェクト

子供の主体的・対話的で深い学びを支えるために、教師が力を一層向上させます。

### 【その他の御意見を受けて】

- ・保護者と学校が協働して子供を育てるために、懇談会等で「育てたい子供像」を共有する。
- ・いじめを早期発見するために、教師は、からかいをした時点で指導したり、子供が相談しやすいようにする。
- ・「算数数学科学力アッププロジェクト」で、力を付ける。
- ・高等部は「庄内未来研究所」で、各教科の力を総合して探究活動を行い、学習の成果を保護者や地域に発信していく。